

事務事業名		広域連携観光振興事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	015 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	011 観光客の誘致と観光宣伝の充実				01	07	01	04	08
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 - 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	商工港湾部観光推進室				A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	鈴木 弘				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	電話				E 一般(A～D以外)				
	担当者	高木 隆幸	内線	114						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
広域による観光誘客の推進を図ることが効果的であることから、関係市町村等で組織する団体に負担金を交付し、主に次のような活動をしている。 ・パンフレットの作製、配付 ・旅行商品の開発、商品造成のための商談 ・観光宣伝キャンペーン ・情報の提供、交換 主な業務は、①担当者会議への出席、②負担金の支出、③各種情報の交換、④観光キャンペーンの実施。 事業費は、負担金として支出される。						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		
							財源内訳	都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
						事業費計(A)	0			
						人件費	正規職員従事人数			
							延べ業務時間			
							人件費計(B)	0		
							トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
負担金の交付(東北都市観光協議会、三陸復興国立公園協会、五葉山自然保護協議会、国立公園関係都市協議会、いわて観光キャンペーン推進協議会、財団法人岩手県観光協会、三陸ジオパーク推進協議会) また、27年度に五葉山自然保護協議会事務局を、釜石市に引き継いだ。		ア	会議出席回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度実績と同様に活動予定であり、東日本大震災により被害を受けた観光素材等の整備を行い、受け入れ態勢の再建(観光素材の情報収集・情報発信など)を行っている。なお、東北都市観光協議会は平成28年度末で解散した。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・直接対象 広域観光関連団体 ・間接対象 観光客		名称	
		単位	
		カ	負担金を支払っている広域観光関連団体数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・(広域観光関連団体に)活動に役立ててもらおう。 ・(観光客に)大船渡市の観光資源を知ってもらおう。		名称	
		単位	
		サ	広域圏のイベントを通じて大船渡市が紹介された件数
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・大船渡市を訪れる。 ・魅力がPRされ、認知度が高まる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,915	2,043	2,043	2,043	2,043	2,043
		事業費計(A)	千円	1,915	2,043	2,043	2,043	2,043	2,043
	人件費	正規職員従事人数	人	7	7	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	216	216	210	210	210	210
		人件費計(B)	千円	864	864	840	840	840	840
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,779	2,907	2,883	2,883	2,883	2,883
⑤ 活動指標	ア	回	11	12	12	12	12	12	
	イ								
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	団体	8	6	6	6	6	6	
	キ								
	ク								
⑦ 成果指標	サ	件	9	9	9	10	10	10	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0446	事務事業名	広域連携観光振興事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	各団体等の結成に伴い、負担金を交付した。開始年度は各団体の結成年度である。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<p>・平成25年9月に三陸沿岸が日本ジオパークに認定されたことに伴い、三陸ジオパーク推進協議会が発足し当市も会員となった。平成27年3月に三陸復興国立公園の指定区域が、八戸市から石巻市までとなった。黄金王国推進委員会は、組織として活動する意義及び効果が明確に現れていないことから、平成27年度末に解散した。</p> <p>・平成28年度、商工港湾部内の組織機構の見直しにより、観光推進室が新設された。(平成27年度までは、商業観光課観光物産係が担当)</p>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	広域における観光振興事業数は年々増加傾向にあるが、類似した事業も多く、統廃合等が必要であるとの意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 広域圏の魅力をPRして訪れてもらうことで、当市の観光振興につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 行政として観光振興施策を推進するための組織の負担金であるため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 加盟している組織の負担金である。対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 東日本大震災により減少していた三陸地方への入込観光客数が回復傾向にあったが、復興需要等が落ち着きを見せ、観光客数や復興事業者を含む宿泊客数が減少傾向にあることから、広域で観光PR等することで、より効果的な誘客が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市単独で効果的に観光客を受け入れることは難しく、広域での観光受け入れを行う必要があるため、広域連携した観光振興が行われなくなった場合、当市への観光客入り込み客数減少等の悪影響が考えられる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 効果的な事業運営に努めることや、公平かつ合理的な会費制度とすることなどにより、削減の余地がある。大船渡市の観光資源がPRされる団体活動に特化していくことも一つの進め方である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 五葉山自然保護協議会については、2年ごとに釜石市と交代で事務局を担当している。安全祈願祭と調査登山は毎年対応しなければならず、事務局を担当した場合は事務量が増加することとなり、山頂付近の避難小屋の補修等について、具体的な検討が必要となっている。その他の組織は調整や会議への出席、イベント当日の参加等が主な業務となり、それほど大きな事務量はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 組織の目的を達成するための負担金であり、適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
広域連携の団体には、所属団体が重複している団体もあることから、団体の統合について総会等の場で問題提起する必要がある。																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	・可能な範囲で実施事業の検証を行い、総会等において、必要に応じて効果的な事業への見直し等を図るよう各団体への働きかけを行う。 ・費用負担に比べ、事業効果が少ないと思われる団体からの退会について検討する。